

なごやか地域福祉2029

(第4期名古屋市地域福祉計画・第7次名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進計画)

計画の特徴

「なごやか地域福祉2029」は、名古屋市全域を対象として、「地域福祉の推進」に関する事項を定めた計画です。地域の福祉課題や生活課題を明らかにし、地域福祉の目指すべき方向を示した計画として、名古屋市第4期地域福祉計画と、本会の第7次地域福祉推進計画を一体的に策定しました。

地域福祉の実践活動を行う場合のヒントとなる、地域の多様でユニークな取り組みも数多く掲載しています。

計画期間

令和7年度(2025年度)から令和11年度(2029年度)までの5か年

計画の目指すもの

○基本理念

人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち、名古屋を目指して

○基本目標

地域共生社会の実現に向けて、市民、地域に関わる様々な団体、社会福祉協議会や行政が互いに手を携えて連携・協働し、地域の誰もが役割を持って、つながり支えあいながら、自分らしく暮らし活躍できる地域社会を目指します。

○基本目標を実現するために取り組むべき方向性

【方向性1】

つながり支えあう地域をつくる ～孤独・孤立の状態を生まない地域を目指す～

方策① 孤独・孤立の状態を生まない地域づくり

方策② 困ったときに支えあい助けあえる地域づくり

【方向性2】

一人ひとりの「暮らし」に寄り添い支える仕組みをつくる ～支援を求めている人、手助けが必要な人を支える～

方策③ 様々な困りごとを包括的に受け止め支える仕組みづくり

方策④ 地域で安心して暮らし続けるための支援の仕組みづくり

(権利擁護の推進)

【方向性3】

地域で活動する多様な担い手を育む ～人、場、活動、情報などの社会資源がつながる地域作り～

方策⑤ 「支え手」「受け手」の関係を超えて誰もが活躍できる地域づくり

方策⑥ 多様な主体の参画と協働による地域福祉の推進